

開運!

# 初夢診断

夢はどこからやってくるのか？  
そして、何を教えようとしているのか？  
本当に初夢は、一年の出来事を知らせる  
重要なヒントになるのだろうか……？  
そんなあなたの疑問を解消し、  
今年の運を占う「初夢診断」！

「霊夢」が語る

1996年の

あなたの運勢!!





# 古代人の考えた夢の分類法は 今もなお生きつづけている

いったい夢とは何なのか？  
この疑問に対して人類は、  
古代よりさまざまな考察を行ってきた。  
その成果をもとに夢の本質に迫る！



「夢はどこから やってこそののか？」  
最果ての地を目指してとんとん海を渡っていくと、やがて世界の果てを流れる大河、オケアノスに至る。この大河の西には、一年中太陽の光が射すことのないキンメリオイという国がある。

もしわれわれが船旅なら、ここで船を降りる。そして、オケアノスの下りの流れに沿って歩いていくと、太陽の没する門に行き着く。そのすぐそばにある村——それが「夢の村」だと、「オデュッセイア」の大詩人は歌った。

夢はこの村から、夜ごと人間界に出てくる。その際、夢は2つある門のいずれかを通る。ひとつは軽く実のない偽りの夢が通る「象牙の門」、いまひとつは、真実を教える夢が通る「角の門」だと、ホメロスはいっているのである。

——夢はどこからくるのか？  
古代人はさまざまな答えを案出してきた。ギリシアでは、われわれが生きている世界とは別の世界に「夢の領域」があると、夢は

そこから、夜ごと神に携えられてやってくる考えた。

同じ発想が、「聖書」にも見られる。「創世記」28章には、アブラハムの子孫で、後にイスラエル

という名を神ヤハウエから与えられることになるヤコブの有名なエピソードが記されている。

「……彼は夢を見た。先端が天まで達する階段が地に向かって伸び

ており、しかも、神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた。見よ、主が（ヤコブの）傍らに立っていわれた。

「わたしは、あなたの祖父アブラ

ハムの神、……主である。あなたが今横たわっている土地を、あなたとあなたの子孫に与える……」  
ヤコブは眠りから覚め……、恐れおののいていった。

「ここはなんと畏れ多い場所だろう。これはまさしく天の門だ！」  
ここでヤコブが見ている「先端が天まで達する階段」、それは神の領域と地上の間に架け渡された、目に見えないものたちのための通路を意味している。

「聖なる夢」は、この通路を伝ってヤコブにもたらされた。そのことは、ヤコブが「神の御使いたちがそれを上ったり下ったりしていた」と語っていることからわかる。彼のウイジョンは、天使たちが、天界の神のメッセージを、夢を通して「運んでいることを語っているのである。」

「聖書」には、ある種の夢は天界からくるということを示すエピソードが、ほかにいくつも語られている。たとえば外典の「シラ書」はいう。ほとんどの夢は「偽り」で「無意味」だが、中には「いと高き方が配慮して送った」ものが





あるのだと。

もう少し例を挙げておこう。イスラム教では、ある種の夢は神からくると端的に述べている。「コーラン」に次ぐイスラム聖典「ハディース」(ムハンマドの言行録)には、次のようなムハンマドの言葉が記録されている。

「敬虔なウイジヨンは神からくるが、邪悪は悪魔からくる」

ムハンマドはその生涯の間に、何度もこの言葉を繰り返して聞いた。そもそもイスラム教そのものが、大天使ガブリエル(イスラム教ではジブリール)によってムハンマドに授けられた夢から始まったのである。



### すべての夢が心の幻影とは限らない

フロイト以降、夢をつくりだしているのはわれわれの無意識だと考えることが常識になった。そのこと自体は間違っていない。しかしに無意識は夢をつくりだす。けれども、夢のすべてが無意識の創造にかかるといとうと、そうとはいえない。

古代人は、夢には大別して2つの種類があると考えていた。ひとつは、今日われわれが無意識と呼んでいる精神領域の活動によってつくりだされた夢。つまり心がつくりだした幻影。もうひとつは、

自分の心がつくりだした幻影ではなく、自分以外の「何か」からもたらされたものである。

もちろん、古代人には無意識という概念はなかった。しかし、先に見たムハンマドの夢の定義のうち「邪悪な夢」は、ほぼ間違いない。心の幻影を指している。その点は「聖書」も同じだ。前出の「シラ書」は、明確にこういっている。



「(神に由来しない)夢の中で見るものは映像にすぎず、鏡に映った

自分の顔のようなもの。……陣痛の中で思い描く、女の妄想のよう

## 夢で世界をつくる

夢が「夢の村」などの外部からやってくるという考えとともにホピュラーだったのが、「脱魂による体験=夢見」という解釈だ。

人間が眠りにつくと、それまで肉体に囚われていた魂は、自由を獲得して体外に抜けてる。抜けた魂は、あちこちをさまようが、そのときの見聞が、夢となって記憶に残るといわけである。この思想は、後の齧体離脱やテレパシーのルーツに当たる。

この立場にたった解釈を最もみことな形で展開したのは、インドのウパニシャットの哲人たちだった。ヤージニャヴァルキヤという大バラモンはこう述べている。

「(心臓に住む)神人には、2つの状態があります。目覚めてこの世に在ることと、熟睡してかなたの世界に在る状態とであります。夢の状態は両者のつなぎ目になる第三のものであります。そのつなぎ目の状態にあるとき、彼はこの世に在ることと、かなたの世界に在る状態という、この2つの状態を見るのです」

「この世」は現実世界、「かなたの世界」は絶対者であるブラフマンの世界を指す。夢は、この両者の中間(チベット密教でいうバルドゥ)に位置する。その場所で、人間の本質である神人は、自由に世界を創造するというのである。

うなもの」(34章)  
ギリシアにおいても事情は変わらない。ギリシア文化圏に属する詩人ヴェルギリウスは、夢は「影の王国」からくるといい、そこに住むのは、死、不安、病氣、老齢、恐怖、飢え、悲慘、疲労、戦争などだと唱えた。これらは、フロイト以降の夢の科学が明らかにした無意識内容の神話的表現にほかならないのである。

もっとはっきりしたい方をしているのは、ギリシア最大の夢学者アルテミドロスだ。彼の「夢判断の書」は夢占い屈指の古典だが、その中でアルテミドロスは、実に驚くべき意見を述べている。

「夢と睡眠中の幻覚は、はっきり区別される。……現実の体験のうちのある種のもは、その人の魂に駆け寄り、その傍らに並んで、さまざまな幻覚を引き起こす。たとえば恋をしている男なら、しばしば幻覚の中で相手の少年と睡み合うことがあるし、なかに恐怖



を抱いていると、眠っているときにそれが現れるものだ。

……一方夢は、睡眠中に活動して、未来の出来事を予言し理解させるだけでなく、眠りが終わったあとにも魂に活力を与え、行動を促して、予定の実現へと導くという性質をもっている。

一瞬、読者は彼が何をいっているのかと、とまどわれたかもしれない。アルテミドロスは、われわれが通常、「夢」と呼んでいるものは、実は夢などではなく、単なる「幻覚(Hallucination)」だとい、「未来の出来事を予言し理解させる」ものこそ「夢(オネイロス)」なのだと言っているのである。

今日のわれわれは、夢の創造者は自らの心だと信じきっている。しかし、アルテミドロスは、そうではないといきえる。では、アルテミドロスのいう意味での夢の創造者はだれなのか。

彼は2つの源泉を挙げている。ひとつは肉体を超越した存在である「魂」、もうひとつは「われわれ人間を支配する者」である。

## 世界中に見られる 夢の二分法とは?

夢が未来を告げたり、病気を癒したり、金銭・財物を与えたり、発明・発見のためのインスピレ

ションを与えるといった話は、限りなくある。その種のエピソードばかりを集めた本をさきこる筆者は出したので、興味をお持ちの方はこゝ読みたいが(夢にまつわる不思議な話「学研エルフックス」)、そうした夢は、まさにアルテミドロスのいう「夢」であって、「幻覚」ではない。

中国や日本にも、右に見てきたような夢の二分法はあった。こちら

らは、心(無意識)に属する夢、つまり、体験や記憶、欲望、不安などに由来する心的な夢を「雑夢」と呼び、それらとは起源を異にする未来予知的・予言的・超常的な夢を「霊夢」と呼んだ。表現は違

うが、発想は東西とも同じといっ

い。彼ら古代人は、けっしてすべての夢をそのように考えたわけではなかった。ただ、ある種の夢だけが「未来を告げる」と考えたのであり、それ以外の夢については、きわめて合理的に、心の幻影として切り捨てよう勧めたのである。

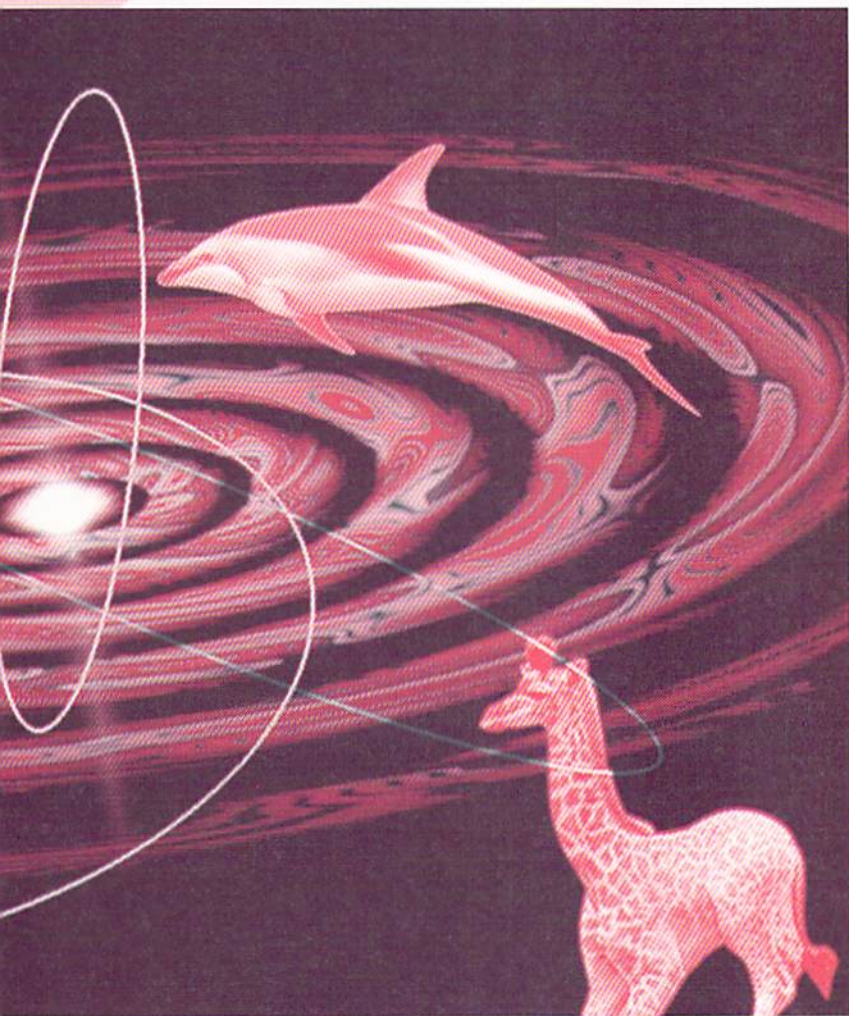
## 世界共通の「霊夢」 初夢で未来を知る

さて、夢をこのように2つに分けて考えた場合、われわれの関心が向くのは、霊夢のほうということになる。

どうやったら霊夢を見ることができるとかという質問を筆者はたまに受けることがある。が、こうすれば確実に見ることができるといった方法は、残念ながら存在しない。ただ、いくつか条件を整備する方法はあるので、それについてはコラムを参照してほしい。

確実な方法というのとは違いますが、霊夢が現れやすい「時」というものは存在する。最もわかりやすいのは、自分にとって重要なだれかが死に瀕しているといった「時」だ。また、自分のつびきならぬ危険状況に片足を突っ込んである「時」というのも、これに当たる。

こうした「時」には、人間はきわめて研ぎ澄まされたアンテナを「無意識的に」立てている。外部





の情報テレパシー的に得て、危機的状況に対処しようとする。

受験、入社試験、結婚、離婚、転職などの人生の節目も、そうした「時」のひとつに数えられる。

これらの「時」は、いずれも人生の岐路を意味する。右に進むか左に進むかで、その後の人生はまったく変わってしまう。そんなとき人間は、やはり研ぎ澄まされたアンテナを立てることが多い。

右に挙げた例はいずれも「個人的な時」に属している。が、それとは別に、「社会的な時」に属していて、しかも霊夢の現れやすい「時」というのも存在している。その代表として挙げられるのが、「初夢」なのだ。

初夢は一年の始まりに見る。だから、一年の始まりをどこに置くかで、いつの日を初夢にするかは異なるが、ともかくその日から新しい一年の周期が始まる。こうした重大な節目の「時」にこそ、続く一年の吉凶を占わなければならないという発想を、人類は数千年の長きにわたって、自らの無意識に蓄積しつづけてきた。

その結果、日本人や中国人は、元旦の初夢の際に先のアンテナを立てる習慣を、無意識的に身につけてきたのである。

欧米では、元旦よりクリスマスの夢のほうを重視する。これは欧



米がキリスト教圏だからというより、クリスマスがもともと冬至祭を変形して創作したものだったからと考えたほうが間違いない。

古代社会の一年の始まりは、冬至（12月23日ごろ）、もしくは立春（2月3日ごろ）だった。中国でも、古くは冬至を年の初めとしたが、後に立春立年に代わった。

今日では、世界の多くの地域が、太陽暦にもとづいて1月1日を新

年の始まりとしている。だから初夢は、この1日に見た夢を指すと

考えてもらえば間違いない。その日の夜の夢は、続く一年を

## 夢の聖域に入る

古代人は霊夢を見るために特定の夢の聖域に籠もった。これをインキュベーションという。夢の聖域で知られるのは、ギリシアなら医神アスクレピオスの神殿・岩窟、日本なら観音の霊験で知られた長谷寺など。かの親鸞は、法障寺の六角堂（夢殿）に籠もって聖徳太子から霊夢を授かっている。

「籠もり」は、外界との関係を一時的に遮断し、いわば母なる子宮に戻ることを意味する。こうした状態にわが身を置き、次に自分の思いをひたすら神仏に向けていく。これを繰り返していくと、霊夢発現の可能性が強まる。籠もることによって夢の主雑音である日常の刺激や情報から切り離され、異常な状況の中で意識が極度に内向して変成していくからである。

霊夢を得るためには、これと近い状態をつくりだす。テレビなどをつけっぱなしにするのは論外。仕事などで頭を悩ますものいけな。また、寝苦しい場所や寝具なども、夢の雑音になるので避ける。その上で、入眠前から意識を自分の内部に集中していく習慣をつけるのである。

ただし、こうした夢見法には、逆すると夢と現実が入り乱れて精神不安などに陥る恐れもある。どうしても夢に尋ねたいことがあるときのみに限定したほうが無難だ。

象徴している。それが平穩な夢であれば、その年は大過なくすこすことができるだろう。逆に、ひっかかっている夢なら、何らかの異変が起る可能性があるということに注意しなければならぬ。

具体的な解釈の仕方は以下のページで述べていくが、その前にいくつかの注意点を記しておく。

まず、元旦の夜に見た夢を忘れた場合はどうするか。

その場合は、2日の夜でも3日の夜でもいいから、とにかくその年になって最初に記憶に残った夢を初夢として解釈してほしい。

また、解釈に当たっては、その年に予定されている大きな出来事（たとえば入試がある人は入試、結婚の予定があれば結婚など）と夢を関連つけて考えることがポイントになる。136ページ以下の説明は、あくまでも一般的なもので、そこに自分の事情を加味して解釈するというのを忘れていただきたい。



## 初夢診断

# 夢に出現したヒントをもとに 今年一年の運勢を占ってみる

## 夢に出てきた人物

### ◎人物が持つ意味

通常の夢（雑夢）では、人物は自分自身の心の一部を意味することが多いが、霊夢においては解釈法が異なる。まず、それが特定の実在の人物なら、以下のいずれかの可能性がある。

①その人物と自分との関係が一年のキーワードになる（たとえば結婚相手が夢に現れ、結婚相手が吉の象徴を帯びていれば幸福な結婚を暗示し、逆なら結婚の障害の暗示となるといった要領）。

②その人物の身に、年内に何らかの重大な変化が訪れる可能性がある（変化の内容は夢全体から読む）。

③その人物の身に過去に起こったことが、夢を見た当人にも起こる（たとえば受験を控えた者が従兄弟の出る夢を見たとして、その従兄弟が受験のときはどうだったかを考える。仮に彼がストレートで入試に受かったとしたとして、その彼がニコニコと夢に現れたら、夢を見た人の合格の暗示と見ていい。逆に悲しそうな顔で現れたら入試は厳しい。また、親戚や知人の夢で、その人が過去に大きな病気などをしており、自分の体調が悪いといった場合は、彼らは病気の前兆の可能性がある）。

④その人物の職業や地位、住所などに意味がある可能性がある（たとえば警察に勤務する知人が出たら、知人そのものではなく警察に関係する出来事が自分



夢の中にはたくさんのヒントが現れては消えていく。私たちは、そのうちどれをとりあげて、どのように生かしていけばいいのだろうか？ 夢診断の重要ポイントをここで紹介しよう。

の周囲に起こる可能性がある）。

夢に出てきたのが実在の人物なら、以上のどれかの可能性があるため、どれに当てはまるかをじっくり考えること（肉親に関しては別項で説明する）。また、以上に当てはまらない場合は、以下の各項目を読んで意味を考えてほしい。

### ◎肉親・親族の夢

「父母兄弟」が出てきたら、彼らの衣服・表情・発言などにとくに注意すること。何らかの幸福・吉兆のサインが出ていれば、彼らの身の上か、彼らとあなたとの関係に幸運な出来事がある。逆に凶のサインが出ていたら、彼らの身の上か、彼らとあなたとの関係に不運な出来事が起こる可能性がある。

なお、親族が一堂に会している夢は、身内に不幸がある可能性があるため注意すること。

### ◎自分自身の夢

夢に出てきた自分自身の解釈は、そのときの状況や様子、行動、持っている物などから総合的に判断する。ただし、「自分が殺される夢」「血だらけになる夢」「浮浪者のように落ちぶれる夢」などはいずれも吉夢。それまでの苦境から脱して新しく生まれ変わる。また「糞尿にまみれる夢」は財運をつかむ。

### ◎死者・故人の夢

「見知らぬ死者」なら吉兆。喜び事がある。血を流していたり、膿が出ていたり、ウジがわいているよ



うならさらによい。その年、大きな計画・願望があれば、それらは成就する。ただし、「まったく血の涸れた死体」はよくない。この夢を見たら、病氣、極度の障害などに嚴重な注意を要する。

「亡くなった自分の祖父母」などの夢は、何らかの警告の場合が多い。小言をいわれたり、怖い顔で睨まれたり、無視されたりした場合は、その年の計画や方針を見直す必要がある。ただし、穏やかな表情で心浮き立つ感じや、励まされた印象があるなら吉夢。計画、方針のままに進んで成就する。

## ◎見知らぬ人物の夢

- 赤ん坊……吉夢。これから可能性が開いてくる。ただし、「自分が赤ん坊になっている夢」は凶。無力の暗示になる。肉親・知人が赤ん坊になる夢も同じ。
- 老人……仙人風の澄んだ印象があれば、守護を表す吉夢。何かをもらえば願望成就の大吉夢になる。
- 天皇など高貴な人……吉夢。思いがけない幸運が訪れる。何かをもらえばさらに大きな幸運がくる。
- 恋人……「肉親・親族の夢」と同様に解釈する。
- 花嫁・花婿……おおむね凶夢。別離や死を告げている可能性がある。
- 妊婦……妊婦は腹に子宝を宿している。つまり財運その他の幸運の暗示。可能性の象徴でもある。
- 襲う人物……雑夢の可能性が高いが、霊夢なら危険が迫っている可能性もある。ただし、逃げ切れれば危険があっても免れる。打ち倒せば、大きな成果や進展を告げる吉夢となる。
- 群衆……群衆に巻き込まれれば先行き不透明で困難の暗示、抜けだす夢なら境遇がプラスに変化する。
- 僧侶など聖職者……縁起がよくない。無理に進むのは凶。身内の病氣や不幸の可能性もある。
- 見知らぬ謎の人物……病氣や障害、トラブルなどの暗示。



## 夢に出てきた場所・風景

### ◎家

夢の中で自分の家だと意識している家は、あなたの心や生活の全体を表す。したがって、その家の状態が、そのまま一年の運氣の暗示となる。

●「明るい家、暖かな印象の家、こざっぱりした家、笑顔に満ちた家」などは、すべて吉夢。ただし、その中にどんな人物がおり、どのような行動をとるかで意味が変わってくるので、基本的には吉ということとを踏まえた上で細部の解釈を進めること。

●「暗い家、どこかに傷みがある家、あばら家、崩れかけた家」などはすべて凶夢。この一年の間に、あなたが、あなたの実家に障害が起きる。

●「引越して新しい家に入る」夢は、実際に引越すという意味ではなく、年内に境遇の変化が起こる。

## 縁起のよい宝船の宝物

よい初夢を見るために宝船の絵を敷いて寝る風習は、足利時代ごろから始まり、江戸時代には大いに広まった。

船に載せられている宝物はいずれも吉夢を誘う縁起物で、宝船絵を出版した宮家、五摂家などにより図柄は異なっているが、どれも初夢に出ると吉兆になる。どんなものが載っているか、サッとリストアップしておこう。

- 米俵＝最高の吉夢。
- 鯛2匹＝“自出たい”に通じる。
- ムカデ＝ムカデは金の神で財運を司る。
- マツ＝長寿のシンボル。
- タケ＝武運長久とともに蟹石・安定・長寿のシンボル。
- エビ＝長寿と夫婦和合。
- ヒシャク＝物をすくうところから、財運その他の幸運をすくう。
- 樋＝財宝がザクザク出てくる打出の小槌と同じ。豊饒・多産のシンボルでもある。
- 千両箱＝いうまでもなく財運。
- ツル・カメ＝長寿と福運。
- 宝珠＝正式には如意宝珠といい、何でも思いのままになるという宝。願望成就。
- 熨斗＝贈答品につける飾り物で、祝い事の前兆になる。
- 七福神＝最高の吉夢。



ることを示す。変化後の吉凶は、引越し先の家や部屋の状態(明るい暗いか、新しいかホロかなど)で判断する。

●「**貧しい家に住む**」夢は逆夢で吉夢。この一年以内に上昇運に入っていく。

## ◎家の中の場所

●**玄関**は運氣の入り口に当たる。そこで、「玄関が汚れている」「水びたしになる」などの夢はすべて凶夢になる。また「動物が侵入してくる」夢は、とくに病気に注意を要する。

●**居間**は家族や父母を象徴する。そこで、居間に異変(たとえば「居間に木が生える」など)があると凶夢となり、めたいもの(たとえば鯛やエビ、米、昆布など)が置かれていると吉夢。

●**台所**は母を象徴する。「台所が寂しい・暗い」印象だったり、「母が後ろ向きで立っていてこちらを振り向かない」などの夢は母の身に心配事が起きる。台所の米俵、炊き立てのご飯、豊かな山海の幸は、いずれも家族に喜び事をもたらす。

●**窓**は外界からのメッセージを表す。窓から入ってくるものは、おおむね凶のメッセージ。蝶や鳥なら死と関連し、他の動物なら病氣と関連する。

## ◎海・川・池

●「**港に積み荷を満載した船が入ってくる**」夢は大吉夢。願望が達成される。「**穏やかな海**」「**陽の光をあびて輝く海**」などプラスイメージの夢も運氣が好調に向かっていっているし、前途洋々、幸運の一年となる。逆に、「**暗い海**」「**荒れた海**」などマイナスイメージの夢は運氣がダウンしていく。

●**川**は人生の流れそのものを示す。「川の流れがきつくてとまどう」「川が濁れる」「川で溺れる」などの夢は、年内に何らかの障害にぶつかる。備えが必



要。「流れの美しい川」「穏やかな川」「滔々(たうたう)と流れる大河」などは吉夢。なお、「だれかが川を渡って向こう岸に行ってしまう」夢は死の予知夢の可能性があるのでとくに気をつけること。

●「**澄んだ池**」多くの魚が泳いでいる池の夢は吉夢。恋人と交際中の人は関係が進展する。妊娠・出産の可能性もある。そつしたことなく無縁なら何らかの利益の暗示。池の状態が悪ければ凶夢。

## ◎その他の場所

●**山**……「山に登る」夢は運氣の上昇。「頂上に着く」のはとくに吉。目的は達成される。「富士山」も大吉。「登る途中で転ぶ」「天気が荒れて進めない」「下山する」などは運氣の下降を暗示している。

●**豊かな土地**……「豊かな黒土」「稲田」「作物がいつは実った畑」などは大吉。収穫の年になる。

●**荒れた土地・寂しい土地・砂地**……前途に障害がある。困難を克服する意志と忍耐力を持つこと。

●**昔の場所**……昔の学校や町などは雑夢の場合が多いが、いずれにせよ運氣はダウン。今年はずっくり気力・体力を養い、ストレスをため込まないことを心がける必要がある。無理な計画は挫折する。

●**道**……次項の「歩く」を参照。

## 夢の中での行動・状況

### ◎行動・状況の解釈法

その行動が招く結果から、吉凶を判断する。たとえば、「**道を歩く**」夢は、現在の状態から別の状態への移行を表す。その結果が吉か凶かは、歩いていくときの状況で判断できる。「**道が開ける**」「**道が広がる**」「**天気になる**」「**よい人や動物に会う**」などの場合は、明らかによい方向に展望が開けてい



くことを示している。逆に、歩いて「行き止まり」なら先で壁にぶつかる暗示になるし、「道が細くなる」なら状況が次第に悪化していく暗示になる。

一般に動いてよい結果になるものは吉、悪い結果になるものは凶。ただし、ひねって考えなければならぬものもある。自分が「大泣き」している夢は、一見凶夢のようだが、泣けばスッキリし、悲しみは去る。したがって吉夢となる。逆に、「異様に笑っている」場合には、笑いの後に虚脱感や空しさがある。したがって凶夢になる。

以下、いくつか実例を上げるので解釈の要領をつかんで応用してほしい。

### ◎結果の考え方

●追う・追われる……追っている対象が何であれ、「追いついてつかまえる」ことができれば吉夢。求めているものを手にすることができると。逆に「追いつかない」夢は、目的達成に多くの困難がつきまとう暗示。「追われつつける」「逃げつつける」夢は、せわしない一年になることを暗示している。

●盗む……現実なら犯罪だが、夢に犯罪はない。うまく盗めば手に入る。したがって、これは獲得、利得などを意味する吉夢。たとえば「糞尿を盗む」夢なら金銭・財物が、「椅子を盗む」は地位が手に入る、といった要領で解釈する。

●切る……何かを切れば、切られたものは2つに分かれる。そこから、男女関係の清算・別れ、離別、離婚、転職などの解釈が生じる。ただし、切れてよくなることもあるので、「概に凶夢と判断してはならない」。「髪や爪を切る」のは、生命力の衰えを暗示。また「指を切る」のは、大切な人を失う暗示。

### ◎右と左、上と下

「夢で何かを取る」「分かれ道に立つ」「選択に迷



っている」などの場合は、左右の意味が極めて重要な意味を持つ。「右」は正しい選択・発展・吉を意味し、「左」は誤った選択・衰退・凶を意味する。

夢でたれかにアドバイスを受けたとして、右の人なら吉のアドバイス、左なら凶のアドバイスとなる。上下では、「下から上」が吉、「上から下」が凶になることが多い。ただし「上にかがります」と現実から遊離し不安定になって凶になる。また「下においてホツとする」なら、ようやく地に足がつくので吉になる。夢を見たときの心理状態や印象をよく思いだして解釈しなければいけない。

### ◎とくに注意すべき行動

●語りかけられる……語りかけられた言葉が、その年の課題、警告、指針などのメッセージになっている可能性がある。じっくり解釈すること。

●結婚する……夢における「結婚」は死などの不幸

## ネズミにまつわる夢解き

96年のエトは「丙子」。丙は「火の元」で子は「水の元」。水火の相剋（対立・闘争）という年巡りに当たっており、内外の緊張が強く働くことになっている。干支の占いはさておき、子=ネズミにまつわる夢解きをざっと紹介しておこう。

ネズミは、①大切な米などの穀類を食い荒らす害獣、②地下やドブ、家の隙などの暗いところにいて働くところから無意識の活動全般、③地下（=無意識）に隠された宝の番人、④地下（霊的世界）からの情報をもたらすメッセンジャーないし援助、という4つの意味のいずれかで解釈されることが多い。

これらのうち、霊夢の解釈では、③と④が中心になる。そこで、「ネズミに咬まれる」「ネズミに衣服をかじられる」などの夢は、無意識から何らかの（よい）情報をもたらされること、状況の好転といった意味に解釈される。衣服は社会生活ないし物質的状態。それがかじられるのだから、生活状態が変わる暗示となり、ネズミを援助者と見れば、よい方向への変化となるわけである。



# 「初夢」

だけが夢じゃない  
不二龍彦 (当記事の筆者)  
が贈る夢解説の  
決定版2冊!!

これ一冊で、  
あなたも  
夢占いのプロ

## 詳細夢解き事典



不二龍彦・著  
定価1500円(税込)

豊富な実例と予知夢・象徴夢の区別、群を抜くシンボル例が自慢の一冊。これとどんな不思議な夢のメッセージも手にとるようにわかります。プロの研究者にも納得の専門書。増刷に次ぐ増刷が、本書の信頼性を物語っています。



不二龍彦・著  
定価1300円(税込)

古今東西の夢の記録から、不思議な夢ばかりを集めた一冊。予知夢の話、夢魔の話、幽体離脱の夢、死後をかいま見た夢、夢で解決された犯罪……等々、眠れぬ夜に奇妙な夢の話どうぞ。

学研

## 夢にまつわる不思議な話

きっとあなたも不思議な夢が見られる!

### 天候と事物・動植物

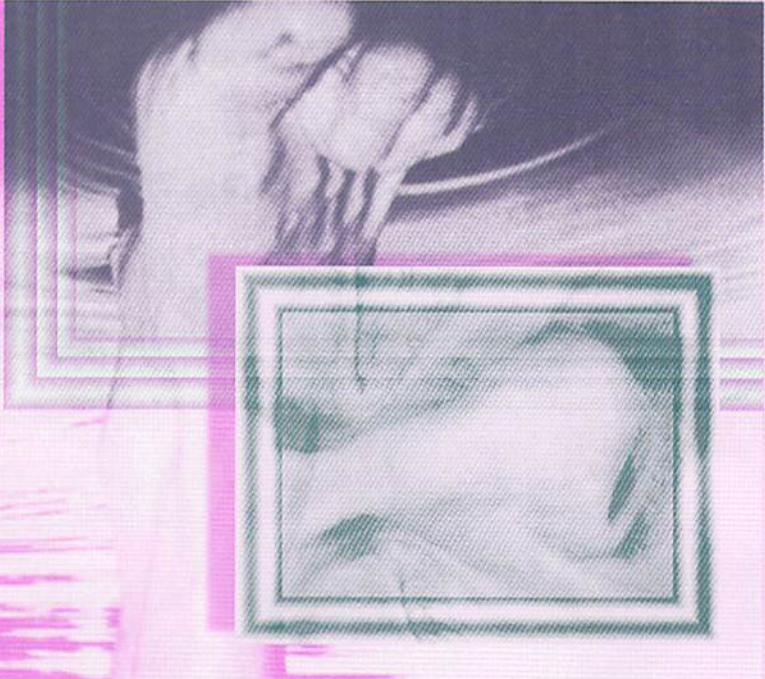
#### ◎天候

「日の出」「晴れ渡った空」「雨から晴れ」など、開けていく天候はすべて吉。それを見ても吉だし、その中にも吉。「自分が天に昇る」夢は大いなる隆盛運に乗る。勤め人なら立身出世の大吉夢。  
逆に「夕日」「暗い空」「晴れから雨」などは凶。運氣が下り坂に入っていくことを示す。

#### ◎動物

●動物を食べる……「動物を(殺して)食べる」夢はその動物が所持している力を身につけることになるので吉。気味悪いものほど得るものが大きい。  
●動物に襲われる……不愉快な出来事、敵による攻撃、心身の不調などの暗示。注意を要する。ただし「襲われて食い殺される」ところまでいけば吉。自分が生まれ変わる。  
●動物が侵入してくる……「ベット以外の動物が家屋など建物内に侵入してくる」夢は凶。災いが自分

を意味する。「恋人や配偶者が結婚する」夢はよくない。心変わりがあるか、離別の可能性がある。  
●死ぬ・葬式に出る……結婚とは反対に吉夢。境遇により意味での大きな変化があるか、喜び事がある。それまで運が悪かった人は、これから好転していく。「自分が殺される」夢も同じ。  
●収穫する……大いなる吉夢。年内に何らかの収穫、収益、成果などが上がる。出世という意味もある。また、子どもを待ち望んでいる人なら子が授かる。  
●醜くなる……運が切り替わり、次第に好転する。  
●食べる……「異様なもの、グロテスクなもの(たとえばクモ、ムカデ、イモムシ、怪物など)を食べる」夢は吉夢。障害が取り除かれる。それまで滞っていたものがあれば、解決に向かう。  
●出産する・出産を見る……何が新しい可能性が生まれてくる。吉夢。卵の夢も同じ。  
●裸になる……苦境に陥る。裸は無力を意味する。  
●動けない状況……困難に遭って動けないが、入院や監禁で拘束されるなどの凶運の暗示。  
●地震……大地は生活を支える基盤。地震はその基盤を揺るがし崩す。そこから、基盤になる夫婦関係の破綻、失職、健康を損うなどの意味が生まれる。





の家庭内が肉体にもたらされる前兆となる。

●動物の子ども……妊娠の前兆のケースがある。

●幸運の動物……トラ（権威・地位獲得）、ソウ（利益・幸運）、ウシ（財産増大・生活安定・幸運）、ネズミ（利得・蓄財）、天を駆ける龍（大出世）、ヘビ（金運）、よく制御されたウマ（発展・立身）などは吉（ただし黒馬、青い馬、真っ赤な馬は凶）。コイ、タイ、エビも大吉。

●不運の動物……死にかかった動物、病気の動物、凶暴になっている動物、体が黒い動物はすべて凶。ネコもよくない。また、昆虫類はおおむね小凶。

●鳥……「鳥をつかまえる」夢は吉。何らかの利得があるか、恋人を得る。「取り逃がす」と逆の意味になる。「鳥が家屋に飛び込む」のは凶。

●幸運の鳥……ツル、ツバメ、オシドリ、見事な二ワトリ（金鶏）、ウシ、タカなどは吉。幸運の暗示。

●不運の鳥……カラスはよくない。病気や死とつながっている。ほかにフクロウ、黒い鳥なども凶。

## ◎植物

●花畑・花一輪・花束……「切り花」はしばしば死と結びつく。「息を飲むほど見事な花畑」は、あの世の花園と関連するケースがあるので注意を要する。

●幸運の植物……ウメ、モモ、ナンテン、マツ、タケ、クワなどの樹木は吉。また、「咲きかけの花」「こぼれかけたつぼみ」「青々とした巨木」「見事な枝ぶり」などは吉。いずれも発展性を表す。

●ボタン、ツバキ、バラ、スズランなどは凶。また、「萎れた花」「堅くて開きそうにないつぼみ」「枯れかけた木」「枝を折る」夢などはすべて凶。運が塞がっていく前兆となる。

●稲……「実がつかまっている稲」は、どんな形で見ても大吉。必ず大いなる吉事がある。米俵、米櫃なども、中に米が詰まっていれば大吉。空なら凶。



## ◎吉兆を告げる事柄

●黄金製の物品……黄金（日光・太陽）は喜びを司る。また、金属全般にも富や財産の意味がある。銀（月）も吉のケースがないではないが、金と比べると価値が劣るところから、金との対比で出てきた場合は、悲しみ、苦勞、期待外れなどの暗示になる。

●椅子・靴……「立派な椅子」を手に入れば、年内に立身のチャンスをつかむ。また、男性が「見事な靴を手に入れる」「新しい靴をはく」などの夢を見れば結婚の可能性がある。靴は古代からの伝統的な女性器の象徴。

●糞尿……踏んだり、食べたり、体に塗るような夢は、すべて吉夢。金銭・財産、利益の暗示になる。

●入り船、宝船……開運・幸運の典型的な吉夢。

●文房具……「文房具をもらう」「ペンや筆の先に花が咲く」などは学問上達、ないし官吏で成功することを告げる吉夢。受験生にはとくに縁起がいい。

## 東洋版文字魔術による夢解き

夢解釈は、普通は夢に現れてきたイメージの深層心理的・文化的意味を探ることで行われるが、それとは別に、五行や易の卦、あるいは夢の絵柄を文字に置き換えて解釈する東洋版文字魔術による方法もある。五行や易による方法は、習熟を要することと専門の知識が必要なため、一般の人には難しいが、文字への変換はだれにでもできるので紹介しておこう。

たとえば、「女の子が犬に乗っている。犬には4つの口がある」という珍妙な夢は、「好い器」という字に再構成される。そこでこの夢は、どこから素晴らしい皿などの食器を得る前兆と解される。また、「棒が3本、横に並んで置かれている。自分が（あるいはだれかが）棒の上に縦に寝る」という夢は、「王」の字の暗示となる。そこで、夢を見た者（ないし横たわった人物は王のような地位・境遇に就くと解く。「2匹の犬がものをいう」夢は、犬と犬の間に言を入れて「獄」の字になる。そこで、何らかの刑罰や刑事事件にからむ恐れがあるといったように解くのである。



## 初夢対策

# 有益で神聖な霊夢を呼び込み 悪夢を祓うさまざまな方法!!

私たちは、たとえ悪夢を見てもいたすらに排除せず、  
真摯に対応していかなければならない。  
しかし、どうしても気分がすくれないときは  
この悪夢祓いを試してみてもどうかっか。



## 吉夢を見るための 世界各地のまじない

ヨーロッパには、「ベッドに入る前にバルサム（香水ハッカ）を食べて寝ると楽しい夢を見る」というジンクスがある。日本では、「宝船の絵を枕の下に入れて寝る」というまじないが有名。

また、枕の付近や部屋の入り口に金属製のもの（刃物、金づち、鋸、鎌など）を置いておくのも魔除けになる。これは世界中に広がっているまじない。古代人は鬼や魔物は金属を嫌うと信じていた。中国では、「正月元旦に柳の枝を戸の上にさしておくと、どんな

鬼も家に入れない」という。

柳は古くから霊木と信じられた木で、中国では邪鬼祓いや死者との交霊などにも用いてきた。日本では、柳は古代からの神霊の依代。寝室に柳を置くのもいいだろう。



## どうしても判断が つかないときには?

いくら考えても吉凶がわからない場合は、まず夢を細部まで漏らさずノートなどに記録し、翌日、寝る前に「今日は昨日の夢の続きを見る」、ないし「夢の意味は今晩明らかにする」と何度か念じてから眠る。これでヒントが出てくるケースは意外と多い。翌日見た夢

と前日の夢をよく照らし合わせ、再度解釈を進めてほしい。

なお、先にも述べたように、前日の夢は必ず記録しておくこと。

起きてから数時間後には、夢の細部のほとんどは忘れてしまうものだからだ。

神社にお参りに行き、夢の意味を教えてくださいとよく祈念した上でオミクジを引くという方法もある。そこに示された神示と夢を連動させて解釈する。クジを引く際によく念が通っていれば、重要なヒントが得られる。遊び半分の気持ちでは念は通らない。

なお、この記事ではごく一部の説明しかできなかったが、より詳



## 悪夢を見たときの 対処法と祓い方

嫌な夢、縁起の悪い夢は、災いを事前に意識に伝えて対処させようというアドバイスなのだから、無視したり祓ったりすることを考えるより、まずアドバイスに真剣に耳を傾けることが先決。夢のメッセージを正面から受け止め、じっくり対策を考えてほしい。

その上で、悪夢祓いのまじないもしておきたいという人には、以下の方法がある。いずれも古人が行ってきたもので、科学的根拠は

ないが、心理的效果はある。呪術的の心性の持ち主ならとくに効果は大きいだろう。

●「朝早く起きて川で『夢流し』をする」

具体的には、悪夢の内容を書いた紙片を流す。病気関連の夢なら紙片を人形に切り、それで自分の体を撫でた後で川に流す。いずれの場合も、流す際には「これで悪夢は流れた」と唱える。

●「朝、東に向かって『バクにあけます』と3回言う」

バクはご存じのとおり、夢を食う架空の動物。それに夢を食べてもらおうというまじないで、これも昔から行われてきたものだ。







### 朝鮮半島に伝わる 厄祓いのまじない

悪夢に限らず、正月早々から嫌なことがあった場合は、こんな厄祓いの方法もある。

●「正月15日の早朝、通りすがりの人に呼び声をかける」

声をかけるのは未知の人。それで返事がもらえたら、その年の自分の悪運はすべて応えた人に移るといっまじないが朝鮮半島には伝わっている。悪運の売買が、これで成立したと見立てるのである。

日本には「夢の売り買い」の話があるが、同じ発想のまじないだ。●「正月14日の夜に自分で驚人形を作り、その胎内に自分の年齢だけの銭か米を詰めて、翌日、道ばたに捨てておく」

これは「処容(シエウン)」と呼ばれるまじない。驚人形をだれかが拾ったか踏みつけられ、悪運はその人物に移ると見なされる。

この呪術ときわめてよく似たものが日本にもある。

●「道の交差点に櫛や手ぬぐい、お金などを人に見つからないように捨ててくると厄祓いになる」。

厄をまじないで祓いたい人は、右の方法を試してみるのも一法だろう。



### 中国霊符を使った 悪夢祓いのまじない

ムー読者の中には霊符ファンが多いようなので、中国霊符書から若干紹介しておこう。

①悪夢や不吉な夢を祓う霊符。寝る前に書いて枕の下に敷くか、寝室に貼っておく。「真本太上老君符訣」所収。

②悪夢の一切の凶意を祓うという「靈験神符平安篇」所収の霊符。ただし厳密にまじないを行うのは困難なので、肝心のポイントのみ

を記しておく。

まず、悪夢を見たら、凶厄の霊符を白紙に書く。次に東を向いて朝の空気を一口飲み下し、次に以下の解禳呪を唱える。

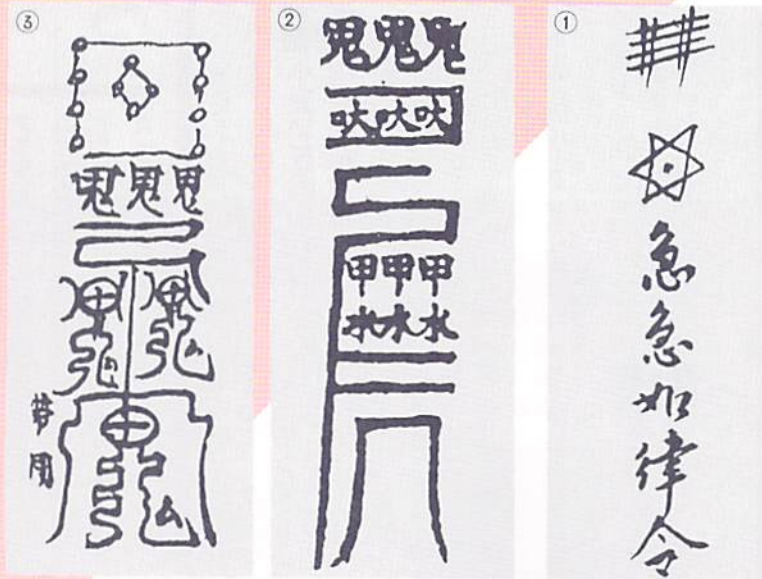
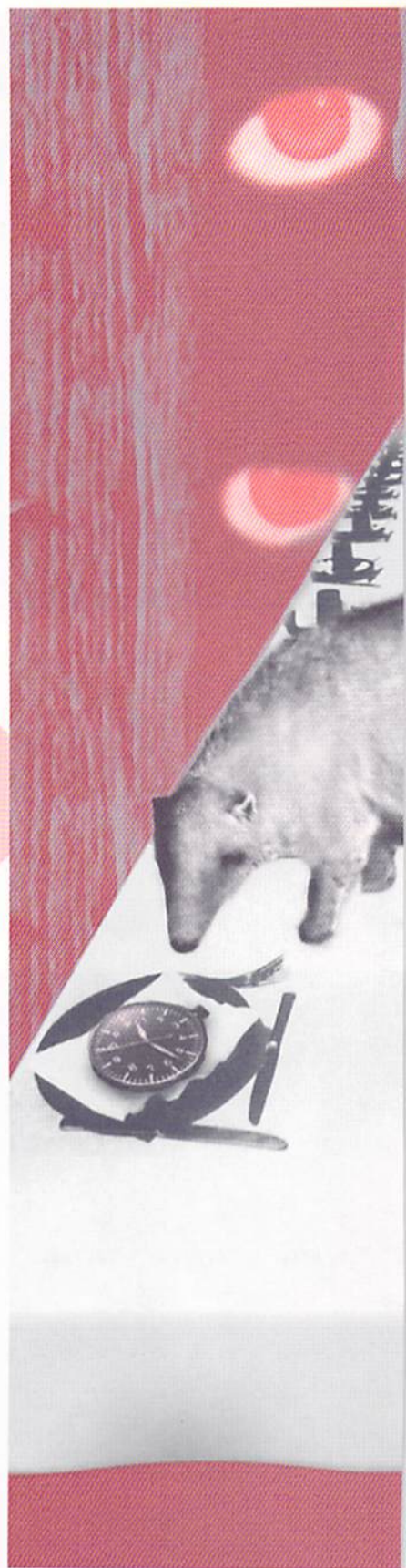
「日出づる東方の夢、その夢は不祥。天下の力士、我が身の傍らに在り。桃花仙女・周公文王・三台我を護り、百事吉昌。神剣一下して万怪消亡す。我、三山九侯先生に律令を奉る」

これを7度唱え、最後に霊符を路上で焼く。

③とくに悪夢用というわけではなく、すべての凶を除く霊符。「靈験神符大観」所収。霊符は文字も

独特で覚えにくいものだが、これならすぐに記憶できて、とっさのときにもハッと書くことができる。

日本線の日は八方、八卦など全世界。それを井桁に組んでいるのは万物封じの印。六芒星も和合・封印・結界など多様な意味がある。



↑夢に対して有効な3枚の中国霊符。右から①悪夢を祓う「真本太上老君符訣」の霊符。②一切の凶意を祓う「靈験神符平安篇」の霊符。③すべての凶を除く「靈験神符大観」の霊符。



## 初夢実例

# あなたが今年見た初夢は、 どんな未来を暗示しているか？

夢の解釈にはさまざまなものがあり、なかなか困難なことが多いのも事実だ。そこで、過去に相談を受けた実際の夢を対象に、具体的な夢診断を行ってみた。

### 薄暗い道を ひたすら進む自分

薄暗い道を歩いています。どこを目指しているのかはわかりませんが、とにかく先に目的地があることだけはわかっています。

道は途中に商店街などがあり、

いつか見たような場所だった気がします。多少、寄り道をしますが、先に進まなければならない思いが強くなり、また、進んでいきます。たまたまなくもどかしさがあります。歩いていて途中で天気が崩れてきて、雨が降ったようです。道がぬかるんでいましたが、それでも

進んでいくと、だんだん不安になってきました。

ふと見ると、白いネズミが数匹います。私が怖じけつくと、そのうちの1匹が咬みついてきて、衣服をかじられました。ギョツとして目が覚めました。

(東京都 佐藤香寿美 学生)

### 白いネズミは 援助者を表す言葉

嫌な印象の夢ですが、基本的には援助によって道が開けてくるという吉夢です。

冒頭の「薄暗い道」は、現在のあなたが置かれた状況です。あな

たは卒業を間近に控えた大学4年生ということですから、この「薄暗さ」は卒業後の生活、ないし就職の暗示です。

その「見通しが立たない」ため、シーンが薄暗くなり、それでも見通しの立つところを目指して歩いているわけです。

「目的地」がどこかは、あなた自身自覚していない。そのため、どうしても「寄り道」したくなりまします。けれども、夢では、「先に進まなければならない思いが強い」。これは現状を変えなければならないという強い意欲です。

ただし、先が見えないまま進むので、何らかの障害(「雨」「ぬかるみ」)が待ち受けていることは覚悟しなければなりません。

けれども幸いなことに、「白いネズミ」が出てきています。これは「援助者」を表します。仮に難局に直面しても、あなたには救いが入るので心配はいりません。「ネズミ」に着物をかじられる」というのも、幸運の暗示です。

この先、「明るい道を歩く」夢を見るようなら、将来の見通しは

### 小高い丘の上から 空を飛んでいた

さらに開けてくるでしょう。いずれにせよ、ラッキーな初夢です。

数年前に見た初夢ですが、非常に強く印象に残っているものです。小高い丘のようなところから飛び立って、自分が空を飛んでいるのです。

あまり高くは上がらず、地上からさほど離れていないところを滑空するような感じでした。下にはさまざまな人々がいて、私を見て怒っている者もいます。その顔を見たとき、以前、あいつは自分に

たてついたヤツだとわかり、いい気味だといった気分になりました。下には女性もいました。やはり私を見て、感心したような顔をしています。

そのうち、なぜか自分が飛べることに疑問がわいてきました。すると、だんだん高度が下がり、着地してしまいました。ガツカリして、もう一度飛ばうとしましたが、もう飛び上がれませんでした。

(奈良県 木村浩一 学生)

### 願望が夢になる 雑夢に惑わされない

飛ぶ夢は若い年代には、割と多







く現れます。空を飛ぶということで、すぐに霊的な事柄(幽体離脱など)と結びつけて考えたがる人がいますが、まず無関係といきって間違いありません。

飛ぶ夢にはいくつかの原因が考えられます。第1は心臓の圧迫や心臓の疾患です。

これらが原因で飛行夢を見るケースは、年配者でいくつも報告例がありますが、彼には無関係そうなので、別の意味を探ることになります。

この夢で特徴的なことは、飛んで、人を見下ろしている、点です。

「自分たてついたヤツ」の頭上を飛ぶのは、その人物の上に立ちたい、支配したいという願望ですし、「感心したような顔をして」見上げる女性は、そのような自分を見てほしい、もっとはつきりいえるモチベーションという願望です。

ここまで分析を聞けばおわかりでしょうが、これは「雑夢」であり、「霊夢」ではありません。

ただ、初夢としてこんな夢を見たということには注意を払わなければなりません。

年頭に当たって、非現実的な支配欲むきだしの夢を見るといこうとは、「地に足がついていない」ということです。こうした態度では、一年は悶々(もんげん)のうちに過ぎ去り、先行きが不安です。飛ぶことを夢想するより、しっかりと地を踏み締めて歩くこと。それが初夢のメッセージです。

## 夢の中に表れた親族の意味は?

私ではなく母が見た初夢です。親戚のA(母の妹の家に行く)と居間の真ん中に、たぶんマツだと思のですが、ニョッキリと床を破

って生えているのです。

「どうしたね」

と驚いた母がたずねると、Aは、「何でもないよ」

といながら、母がきているにもかかわらず、なぜか押し入れに入ってしまったのです。

変なやつだと思いがながら、その場にいると、だれかがきたようでしたが、それがだれかはわかりません。どうも黒い服を着ていたような気がしています。

この夢を母が見てから1年ほどして、Aが病氣(ガン)で亡くなりました。これは予知夢だったのでしょうか?

(神奈川県 匿名希望 主婦)

## 予知夢を見たら細心の注意を!!

まさにもない予知夢です。夢の中には、死と結びつく暗示が随所に振りまかれています。まず「居間の真ん中に生えてきた樹木」はその家に何らかの不幸な事件が起こることを暗示しています。お母さんの家ではなく、Aさんの家ということですから、Aさんの身に起こるといふ見当がつかます。

次に、「押し入れに入る」という情景が続きます。閉ざされて暗い押し入れの空間は、子宮などの象徴にも用いられますが、「箱形で暗いもの」として、棺桶の象徴

にもなります。その中にAさんが入ったというのは、かなり注意を要する暗示なのです。

さらに、「黒い服を着た」だれかが訪ねてきたといえます。黒い服は、いうまでもなく葬式の際の衣服(喪服)の色です。また、いつも黒い服を着ているのは、僧侶や葬儀社の人など、死と関連した業務の人々です。

夢では「それがだれかはわからない」といっています。だれかわからない者が家を訪ねてきて、その人物が不吉なしるしを身に帯び

ていたなら、その人は何らかの凶事の知らせを携えたメッセージなのです。

このように、お母さんの夢は、Aさんに関する深刻な危機を何重もの象徴を重ねて告げています。これが初夢だという点にも、とくに注意を払わなければなりません。

年頭に不吉な夢を見たら、そのまま放置せず、積極的に対処法を探るべきです。杞憂に終わるなら、それにこしたことはないのですから。

## あなたの見た夢原稿大募集!!

2月号より今回の特集の筆者、不二龍彦先生による「夢先案内」が連載されます。不二先生は、エルブックスで「詳解夢解き事典」などの著作がある夢診断のスペシャリスト。あなたの見た夢の真相を、誌上にて詳細に分析し、アドバイスします。

気にかかる不可解な夢を見た方は、その内容をできるだけ詳しく書いたうえ、住所・氏名・年齢を、封筒及び原稿に明記し、〒146 東京都千鳥郵便局私書箱2号 学研ムー編集部 夢先案内係までお寄せください。採用された方には、内容に応じて1000~3000円分の謝礼をさしあげます。

